

183

2021. 7. 18

長崎郵趣



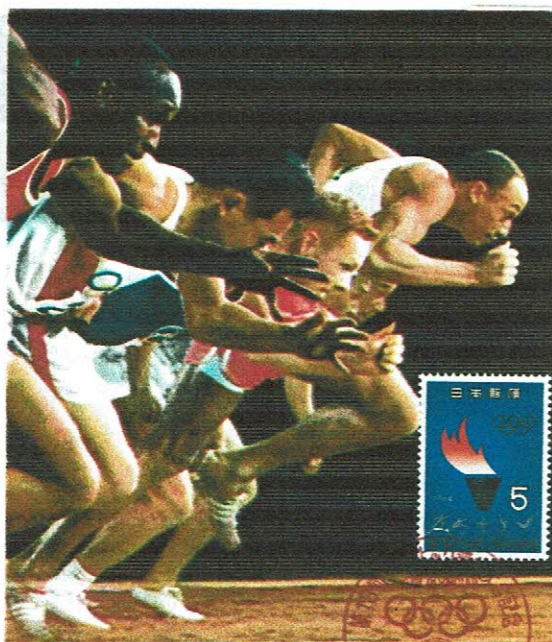
第18回 オリンピック 東京大会 1964



〈東京五輪公式ポスター〉
20世紀の歴史 12集 2000



〈最終聖火伝走者：坂井義典氏〉
戦後50年メモリアル2集 1996



TOKYO 1964

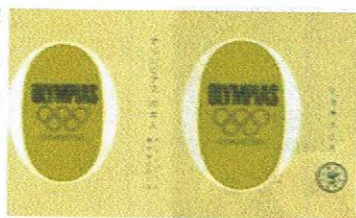
MC 〈東京五輪公式ポスター〉 東京オリンピック選手村刷印 1964.10.10 - 24

回顧、東京オリンピック1964 伊東弘章

10月10日、午後2時。東京・千駄ヶ谷の国立競技場に集まった7万5000人の観衆が見守るなか、史上最高の94ヶ国、7495人の参加選手・役員が入場行進を始めた。第18回オリンピック東京大会（以下東京五輪）の開幕である。この日東京は前夜までの激しい雨はあがって抜けるような秋晴れとなった。この青空をキャンパスに、航空自衛隊所属の飛行隊「ブルーインパルス」によって五輪マークが鮮やかに描かれた。会場の観衆はもちろんテレビ観戦の国民はこの演出に度肝をぬかれた。もちろん海外においても。



1940年に第12回東京五輪開催が決定していたが、第2次世界大戦でオリンピックは中止。以来、



ようやく第18回開催にこぎつけたもので、まさに復興日本の悲願だった。

会場となる各競技場はもちろん選手村や大会施設などの建設。アクセスとなる地下鉄、首都高速道路、モノレール、東海道新幹線などの交通網の整備、ホテルの建設など…東京は大きく変貌した。これらは東京五輪が残したレガシーとして現在も日本の社会・経済に寄与している。

一方、競技においては15日間にわたり、史上最多の20競技163種目で熱戦が



繰り広げられて国民が沸いた。「東洋の魔女」の女子バレーボール、東京大会から正式競技となった日本お家芸の柔道、中でも敗れはしたが神永とA.ヘーシンの柔道決勝戦。また体操男子のメダルラッシュ。ボクシング、レスリング、ウェイトリフティングの金メダル獲得など…。大会最終日に行われた陸上・マラソン競技は、2連覇したアベベ（エチオピア）に次いで円谷幸吉が国立競技場へ戻ってきた。競技場内の大歓声は当然だがテレビ前でも鳥肌立つ興奮で声援をおくる。しかし、B.ヒートリー（英国）が背後に迫ってきている。最後はヒートリーにかわされ3秒差の銅メダルとなる…など東京五輪の歓喜シーンの数々が思い出される。

東京五輪時代の私、勤務先のサッカー部に所属。日本でのサッカーはまだマイナーイメージの



スポーツでもあったが、東京五輪ではサッカー競技が一番に関心をもっていた。日本代表の結果は、サッカー強国アルゼンチンを破り、グループ2位で準々決勝へ。当試合で敗れはするも見事、ベスト8入りを果たした。

東京五輪を機に次のメキシコ大会で日本代表は銅メダルを獲得したのである。以後、メダルに縁のない日本代表。今夏の東京五輪2020大会はメキシコ大会以来のメダル獲得が成るか、期待したいものだ。

（添付図は東京五輪PRのタバコ「Peace」パッケージ）



第18回オリンピック競技大会は、1964年10月10日～24日、15日間にわたって東京（一都府県、埼玉県、神奈川県、千葉県、東京都）で開催された。東京オリンピックは日本のスポーツに多大の発展の契機を与えた。また、全45%の増収を目的とした郵政増収を機に、郵政増収に力を入れて、集づも郵便が「世界に誇れる、美しい郵便」を実現し、あるべき郵便の姿を明らかにした。



聖火リレー



1964年東京大会の聖火リレーは、同年8月21日にオリンピックで採火され、アジア地域12ヶ国をめぐり9月7日に沖縄へ到着。9月9日、沖縄を出発した聖火リレーは、鹿児島、高知を経由して千葉へ向かった。この鹿児島・高知・千葉は聖火リレーの3駅となり、日本全国を4コースに分けてリレーした聖火リレーは、10月7～9日に東京湾内で行われた。聖火は9日朝、皇居二重橋前で採火された聖火リレーで、翌朝の10月10日東京五輪会館、国立競技場へリレーして聖火にともす。

聖火コース 鹿児島



Four Day of Issue



聖火リレー 切手シート 1964年

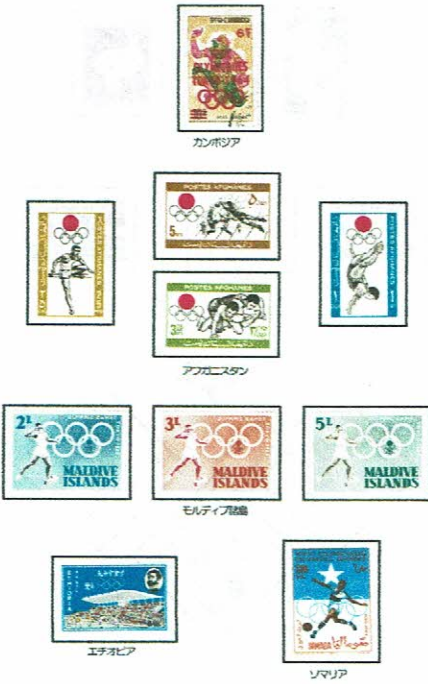
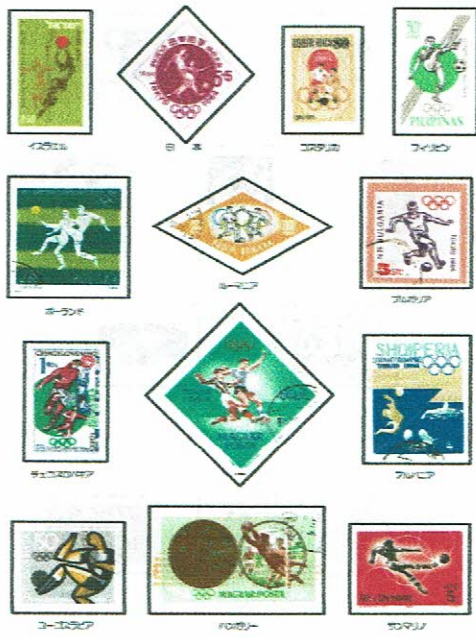
第18回オリンピック競技大会 国内聖火リレー記念



EIGHTEENTH OLYMPIC GAMES TOKYO 1964



聖火リレー 切手シート 1964年





ルワンダ



コンゴ



ウガンダ・ケニア・タンザニア・ザンビア



ガーナ



リベリア



マリ

6-7



フランス



西ドイツ



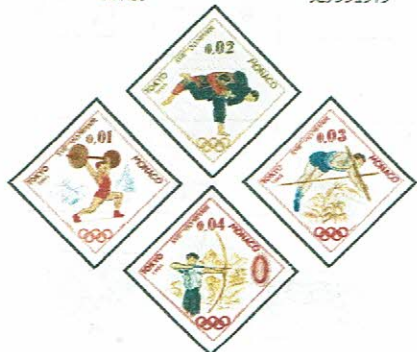
西ドイツ



ポルトガル



西ドイツ



モナコ



ギリシャ



ギリシャ



ギリシャ



ギリシャ



ギリシャ



ギリシャ



ギリシャ



キプロス



8-9



チェコスロバキア



チェコスロバキア



チェコスロバキア



サンマリノ

10-11



東ドイツ



ルーマニア



ブルガリア



アルバニア

12-13